

ゆすはらちやうがっこうおうえんだん

梶原町学校応援団だより No.4

木々の紅葉がきれいな季節ですね。もうすぐ寒い梶原の冬がやってきます。

10/19 梶原学園少年消防クラブ 軽可搬ポンプ操法を学校で発表

学校の避難訓練で少年消防クラブがポンプ操法を披露しました。

6年生2人はこれが最後のポンプ操法です。この発表を見て、来年度参加してみたいという人が何人かいました。今後メンバーが増えるといいですね。


ゆすはら和だいこクラブの活動

ゆすはら和だいこクラブは現在2～5年生12名で活動しています。

今年はみどりの家、四万川、越知面の夏祭りと梶原町芸術祭に参加しました。

現在は1月17日の高知県下のチームが集まるコンクールに向けて練習をしています。

指導は90歳の明神宏和先生と、20歳の矢野まゆ先生です。明神先生には曲を、矢野先生にはたたき方などを教わっています。今年のコンクールは賞をもらえるかも、と先生方は期待してくれているようです。

コンクールまであと7回しか練習がありません。毎週がんばって練習しましょう。



矢野先生（左）と明神先生（右）。

矢野先生の演奏はびっくりするぐらい迫力があります。

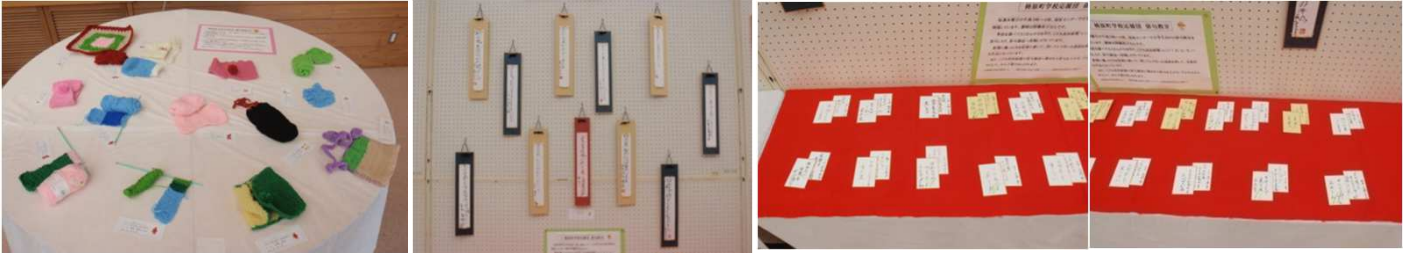


水曜日の教室の活動

俳句教室・編み物教室は芸術祭に作品を出展しました。

俳句はこども高知新聞に投句し、毎回誰かは掲載されています。その掲載句を短冊に書きました。

編み物も2年目3年目の人はどんどん新しい作品ができて、立派に展示できました。



百人一首教室・囲碁教室・英会話教室も毎週開催しています。



水曜の教室は夏休み・運動会時期はお休みでしたので、3か月ほど間が空いて9月末より再開しました。

そのためか「今日はめんどくさいから行かない」という声がちらほら聞こえます。

また、教室の時間中に部屋を抜け出したり、畳の部屋を走り回ったりして、先生の話を聞いていない様子が目立ちます。

百人一首の先生は「まずは行儀を教えたい」、囲碁の先生は「パワーがあるので教え方を工夫すればぐーんと伸びるだろう」というお話をされていました。

俳句の先生は「楽しんで来てもらえたらいいと思うので、続けてほしい」とのことです。

特に百人一首教室・囲碁教室の人は元気があるのはいいのですが、もう少し落ち着いてしっかり学んでほしいと思います。先生方も困っています。